

大会開催における感染拡大予防ガイドライン

東京都ソフトボール協会
女性委員会

1 新型コロナウイルス感染症防止対策

大原則:3つの密を避ける(密閉・密集・密接)

◆リスクが高いものへの対策

◎ベンチ内、ミーティング等 (密集・密接)

➡マスクの着用とソーシャルディスタンスの確保

◎試合球、用具等の共有、使用前・後のベンチ (接触感染)

➡こまめな消毒の実施

2 感染予防・感染拡大防止の3つの基本

1 手洗い・手指等の消毒 2 マスクの着用 3 十分な距離の確保

➡参加者全員へ本ガイドラインの周知徹底を図る(要項等を活用)

3 大会関係者の健康管理<チームのメンバー・審判員他大会関係者全て>

(1) 大会直前2週間前

☆大会直前2週間前から当日までの健康状況等を記録する (健康管理様式)

(7) 初期の風邪症状や発熱(37.5℃以上)、味覚・臭覚異常等のある時は、医療機関等へ相談・受診をする。

(イ) 感染が発覚した場合、保健所等の指示に従う。 ➡大会参加不可

(ロ) 濃厚接触者となった場合、自宅待機で保健所等の指示に従う。 ➡大会参加不可

(2) 大会当日 ➡当日の体温が37.5度以上の場合は、自ら参加しない。

☆当日の受付 (参加者の可否の判断)

(7) 参加者の健康チェック…2週間の状況を確認

チームの監督は、メンバー全員の「健康管理様式」を集約し、受付に提出する「当日の参加名簿」を作成する。 ➡5項目全てのチェックがない場合は、参加をさせない。 ※個人票は、監督が管理・保管する (概ね1か月:日ソ協ガイドライン7.27更新より)

(イ) 提出された名簿順にメンバーの体温確認

受付スタッフが非接触型体温計にて検温を行う。

➡37.5度以上の発熱があった場合は、大会参加不可。会場滞在も禁止とする。

※提出された参加者名簿は、当委員会が管理・保管する (概ね1か月)

- (3) **大会終了後** →二週間以内に感染者または、濃厚接触者が出た場合、速やかに**実行委員長に報告**する。

4 会場施設での衛生および安全管理<チーム・審判員他大会関係者共通理解事項>

- (1) **消毒等の徹底** (対策の基本は「手洗い」、出来ないときに消毒液で対応)
消毒液等を設置し、手指・使用した用具等こまめに消毒等を行う。
【設置箇所：受付・本部・会場入口・ベンチ・トイレ他（詳細は、会場案内に記載）】
★グラウンド共用用具等（ボール・ラインカー・メジャー・レーキ等）<スタッフ・チーム>
◆共用せざるを得ない用具等（バット・ヘルメット等用具、ベンチ）<チーム>
- (2) **マスクの着用** (予備のマスクを持参) <選手・審判員は、プレイ中を除く>
マスク着用時でも、対人との接触1m以内は避け、会話も大声は禁止とする。
マスクを外す場合は、対人との距離を**必ず2m以上確保**する。
- (3) **ソーシャルディスタンスの確保**
対人との間隔は2mを保つ。最低でも1mは確保し、**直接肌が触れる行為は厳禁**とする。
◆握手・ハイタッチ・ハグ等の身体的接触を避ける。
◆野手はプレイ以外で、ピッチャーズサークル内に入らない。
◆守備側による打ち合わせは、投手サークルの外側で1m間隔にて行う。
◆攻撃側によるベンチ前での円陣は禁止とする。
◆ベンチ内ではマスク着用のうえ、最低1mの間隔をとる。

5 運営側の衛生および安全管理

- (1) 新型コロナウイルス感染症防止対策用物品等を確保し、必要箇所等に設置し、感染防止を図る。
(1) 70%アルコール消毒液（スプレー式・ポンプ式） (2) 手洗い用石鹸(ポンプ式)
(3) 受付スタッフ用フェイスシールド (4) 検温用非接触型体温計
(5) 手袋（使い捨て用） (6) その他必要物品
- (2) 本ガイドラインは、東京都ソフトボール協会および審判委員会ガイドラインを基に作成しており、記載のない事項は、準拠し運営する。
- (3) 大会関係者に対して、新型コロナウイルス感染症の拡大防止策のため厚生労働省よりリリースされた**接触確認アプリ(COCOA)**の活用をお願いする。